

電子書籍サービス導入にかかる公募型プロポーザル 企画提案評価基準表

項	プレゼン対象	評価項目		評価観点
1	○	業務全体	市の目的及び課題への理解度	提案者が業務を履行することで、多様な利用者にとって読書機会の提供及び読書環境の向上が期待できるか。
2	○	システム	全体	考え方及び特長等が明確に示されており、様々な利用者や利用目的に対応できるか。
3	○		デザイン・操作性	職員・利用者にとって分かりやすい画面構成となっており、資料検索並びに閲覧、貸出及び予約等が行いやすいか。
4	○		市が特に求める事項への対応	次の機能が利用可能であり、利用者・職員にとって利便性・操作性が高いか。
4.1	○			①障がい者等が利用しやすいものになっているか。
4.2	○			②独自資料(地域資料等)の活用を十分に図ることができるか。
4.3	○			③小中学校と学校連携(※1)を行い、児童・生徒の読書や学習環境に役立てることができるか。
4.4	○			④将来的に広域連携(※2)をスムーズに行え、かつ、各自治体の状況に応じた対応及び運用ができるか。
4.5	○			⑤学校及び企業・団体等の外部機関と連携したサービスを提供できるか(※3)。
4.6	○			⑥利用者管理やID・PASS付与等が行いやすいか。
5	○	コンテンツ	全体	様々な読書要求に応えられるよう、多様なコンテンツを豊富に扱っているか。
6	○		電子書籍の特性	読み上げ等、電子書籍ならではの機能を備えたコンテンツを豊富に扱っているか。
7	○		学校連携	朝読書や調べ学習等、学校での活用に適した多様なコンテンツを豊富に扱っているか。
8	○	情報セキュリティ	セキュリティの確保	通信及びデータ保管において、個人情報保護及びデータ漏洩等に対する対策が十分になされているか。
9	○	業務スケジュール	作業計画・実施体制	運用開始前日までに全作業を完了できるよう、余裕を持ったスケジュールやバックアップ体制等が組まれているか。
10	○	保守運用	体制	運用及び保守、緊急時連絡体制が整っており、障害が発生した場合、迅速な初期対応が可能か。
11	○		サポート	図書館から操作及び活用方法等で疑義や要望等があった場合、それらをくみ取り運用改善に取り組む体制が整っているか。
12	○			利活用方法の提案、先進的取組みの情報提供等、読書機会の提供及び読書環境の向上に繋がる多面的な支援が期待できるか。
13	○	追加提案	利用者の利便性向上	上記の市が求める機能のほかに、利用者にとって便利で効果的な機能等を提案できているか。
14	○		職員の業務効率向上	上記の市が求める機能のほかに、職員にとって便利で効果的な機能等を提案できているか。
15	○	デモンストレーション	使用感	提案システムの動作を見て、利用者・職員にとって操作が簡単で分かりやすく、様々な利用者や利用目的に対応できるか。
16	○		コンテンツ内容	提案システム内で提供されるコンテンツを見て、様々な読書要求に応えられる内容となっているか。

(※1)小中学校の児童・生徒1人1人がギガスクール端末で利用することを想定
(※2)山形連携中枢都市圏(村山地区、最大14市町)による複数自治体での共同運用を想定
(※3)学校の児童・生徒による特集や、コンテンツ寄付を行った企業・団体等の紹介 等を想定